

名古屋工業大学
Nagoya Institute of Technology

後援会だより

発行年月日 平成24年(2012年)11月

編集・発行 名古屋工業大学後援会



目次

CONTENTS

・学長あいさつ	1
・後援会会長あいさつ	2
・平成24年度後援会役員名簿	2
・平成23年度収支決算	3
・平成24年度収支予算	4
・後援会会則	5
・学生対策・援助基金 [特別会計] の運用方針	6
・医療援助・見舞金支出基準	6
・平成24年度後援会定期総会での大学の現状報告	7
・後援会による各種支援事業の報告	8
・平成23年度卒業・修了者に関する進路(進学・就職)状況	9・10
・平成24年度就職・キャリア形成事業	11
・キャリアサポートオフィスから	12
・第50回工大祭のご案内	12
・平成24年度公開講座のご案内	13

学長あいさつ

次の100年をめざして

名古屋工業大学長

高橋 実



後援会の皆様には、日頃から本学の学生生活事業に多大なご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。皆様からのご支援につきましては、学生生活の充実と向上に活用させていただいているところであり、学生・教職員を代表して、厚くお礼申し上げます。

本学は、明治38年に官立の名古屋高等工業学校として創設され、100余年の間、約7万人の卒業生を輩出し、我が国の産業や社会を支える重要な役割を果たしておりますが、本学では常に未来を見据えた教育研究の改革に取り組み、現在は、工学部第一部7学科18プログラム、同二部4学科ならびに大学院4基盤専攻と3独立専攻で基盤的並びに先進的な工学分野をほぼ網羅している教育体制をとっております。

本学の伝統ある工学の実践教育により育てられた人材は、さまざまな社会で活躍しております。また、大学院の進学率が約70%にもならんとする中、本学ではより質の高い学生の人材育成のため、学部と大学院の一体改革に取り組んでいるところです。

昨今、我が国の大学において、秋入学が検討されているように、大学のグローバル化への対応が迫られていますが、本学では、「高度専門職業人養成」及び「グローバル人材育成」のため、「与えられる教育から自ら育つ教育に重点を移し、高度な工学知識と実践能力を有する自立した研究者・技術者を輩出する」「世界のトップレベルの分野の研究を推進し、工学系の国際教育研究拠点を形成する」「基盤産業の革新に貢献するリーダーと、新産業の創成に貢献するリーダーの育成を目指し、複線的な教育体系を実現する」「教育・研究・技術協力分野の国際交流を活性化し、国際的視野を持った学生・教職員を育成する」を教育研究の目標として掲げ歩み続けております。

また、本学では、個性輝く魅力的な大学を目指し、全構成員が力を尽くすことができる道標とすべく「名古屋工業大学憲章」を平成24年1月に制定いたしました。この大学憲章の下、次の100年を見据えた教育研究の改革に取り組んでまいります。

このように、大学が変革を遂げている時代の中で、学生の支援についてもより充実した制度を整え、平成23年度から学長直轄で「名古屋工業大学・卒業生連携室」を設置し、後援会・同窓会・大学の連携による、教育研究支援、経済的支援、学生生活支援を行っております。

今後も名古屋工業大学後援会の皆様と協力しながら、本学を学生や卒業生が誇れる大学にしていきたいと思いますので、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

後援会会長あいさつ

後援会会員の皆様へ

名古屋工業大学後援会会長
久保田 資子



拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より名古屋工業大学後援会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私こと このたび名古屋工業大学後援会会長に選任され、去る7月23日付で就任いたしましたのでここに謹んでご報告申し上げます。何卒ご高承の上 尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

また、本年度の後援会定期総会を7月23日(月)に開催し、前年度決算、本年度予算等の議事につきましては資料のとおりご承認を得ましたので、ご報告申し上げます。

本後援会は、「名工大の教育に協力し、学生生活向上のために学生を援助すること」を目的に昭和36年に発足し、50年を超える歴史を重ねてまいりました。この間、会員の皆様方から拠出いただきました資金をもとに、学部学生及び院生の課外活動(サークル活動や工大祭など)や厚生福祉、就職活動への援助、そして学資融資や災害援助時の特別基金の積立など、多彩な活動資金として運用させていただきました。それにより、学生達の勉学や課外活動に多大な成果をあげることができたものと思っております。これもひとえに会員の皆様方のご支援の賜物であり、さらには本学教職員の皆様方による熱心なご指導および充実した教育研究環境の整備の賜物と、敬意を表す次第です。

このように、学生達にとって、自主的活動に対する支援があるということは大変心強いものでありますが、発足後50年を経て、大学も学生を取り巻く社会も大きく変化している今日、当後援会の在り方も、再考の時期に差し掛かっていると思われまます。これまでも、また、これからも名工大の発展を願い、学生達の支援を行うことには変わりはありませんが、会員皆様方のご協力のもと、後援会として求められている方向、且より良い方向に進みたいと考えております。その方向については、会員皆様のご意見を十分に反映させて、決めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成24年度後援会役員名簿

役名	氏名	所属学科等
顧問	高橋 実	本学学長
//	木下 隆利	本学理事(教育・評価担当)(副学長兼務)
会長	久保田 資子	未来材料創成工学専攻
副会長	水野 純臣	創成シミュレーション工学専攻
//	下村 善量	産業戦略工学専攻
常任幹事	藏野 憲秀	建築・デザイン工学科
//	平野 光章	物質工学専攻
//	中村 隆	副学長(学生生活・広報担当)
//	齊藤 修	本学事務局次長
//	千原 務	本学学生生活課長
幹事	阿部まゆみ	電気電子工学科
//	石河 文夫	機械工学科
//	住田 敏彦	生命・物質工学科
//	三木 邦弘	情報工学科
//	大橋 一恵	生命・物質工学科
//	岡田 利孝	建築・デザイン工学科
//	小木曾健二	情報工学科
//	近藤 茂雄	情報工学科
//	阪野 吉一	生命・物質工学科

役名	氏名	所属学科等
//	田中 哲	第二部電気情報工学科
//	塚本隆一郎	電気電子工学科
//	村岸 祐一	環境材料工学科
//	宮崎 洋介	機械工学科
//	渡邊 一彦	都市社会工学科
//	小山田 啓	機械工学科
//	高橋 康彦	電気電子工学科
//	大川原 肇	環境材料工学科
//	村瀬 広幸	情報工学科
//	葛谷 精毅	都市社会工学科
//	矢野 昌彦	建築・デザイン工学科
//	佐藤 尚則	機能工学専攻
//	渡邊 丈真	社会学専攻
//	小出 光代	産業戦略工学専攻
//	秦 賀子	創成シミュレーション工学専攻
//	長瀬 尚哉	生命・物質工学科
監事	和田 和子	都市社会工学科
//	磯部 剛利	本学学務チームリーダー

(※太字は新役員を示す)

平成23年度収支決算

平成24年7月23日開催の定期総会において承認を得ましたので、お知らせします。

平成23年度後援会[一般会計]収支決算書

●**総括** 収入総額 16,057,078円① 支出総額 9,255,390円② 差引残高6,801,688円 (①-②)

●収入の部

(単位：円)

項 目	23年度予算	決 算	比較増減	備 考	
前年度繰越金	一 般 会 計	2,830,201	2,830,201	0	
	学生生活特別金	3,233,658	3,233,658	0	第一部学生自治会からの預かり金
	計	6,063,859	6,063,859	0	
会 費	大 学 院	1,250,000	1,260,000	10,000	<23年度加入者> ・大学院 252名 ・第一部 619名(うち編入22名) ・第二部 15名
	第 一 部	8,414,000	8,512,000	98,000	
	第 二 部	196,000	210,000	14,000	
	計	9,860,000	※ 9,982,000	122,000	
預 金 利 息	4,000	2,429	▲ 1,571		
特別会計繰入金(公衆電話)	6,000	8,790	2,790		
合 計	15,933,859	① 16,057,078	123,219		

●支出の部

運 営 費	会 議 費	70,000	80,424	▲ 10,424	
	後援会職員給与	1,680,000	1,654,061	25,939	
	運 営 事 務 費	1,400,000	1,356,439	43,561	
	公衆電話維持費	15,000	13,962	1,038	
	計	3,165,000	3,104,886	60,114	
学 生 生 活 事 業 費	新入生歓迎会費	800,000	792,400	7,600	
	工大祭等援助費	1,000,000	1,000,000	0	
	学生生活援助費	30,000	9,680	20,320	
	課外活動援助費	1,650,000	1,822,395	▲ 172,395	
	課外教育援助費	770,000	440,000	330,000	
	就職・キャリア援助費	1,100,000	956,994	143,006	
	医療援助・見舞金	200,000	129,035	70,965	
	計	5,550,000	5,150,504	399,496	
災害救助対策特別基金繰入金	1,000,000	1,000,000	0		
学 生 生 活 特 別 金	3,233,658	0	3,233,658		
予 備 費	2,985,201	0	2,985,201		
合 計	15,933,859	② 9,255,390	6,678,469		

平成23年度学生対策・援助基金[特別会計]収支決算書

●**総括** 収入総額 6,663,797円
支出総額 535,800円
差引残高 6,127,997円

●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前年度繰越金	6,327,493
貸与者返済金	334,900
預 金 利 息	1,404
合 計	6,663,797

●支出の部

(単位：円)

科 目	金 額
新規融資金	※535,800
運営費(振込手数料)	0
合 計	535,800

※H23年度融資金内訳 後期授業料\535,800(2名)

平成23年度災害救助対策特別基金[特別会計]収支決算書

●**総括** 収入総額 9,071,939円
支出総額 0円
差引残高 9,071,939円

●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前年度繰越金	8,070,082
一般会計からの繰入金	1,000,000
預 金 利 息	1,857
合 計	9,071,939

●支出の部

(単位：円)

科 目	金 額
災 害 助 成 金	0
合 計	0

平成24年度収支予算

平成24年7月23日開催の定期総会において承認を得ましたので、お知らせします。

平成24年度後援会[一般会計]収支予算

●収入の部

(単位：円)

項	目	24年度予算	23年度予算	比較増減	備考
前年度繰越金	一般会計	3,568,030	2,830,201	737,829	
	学生生活特別金	3,233,658	3,233,658	0	第一部自治会からの預り金 *大学会館壁画作成費用として支出済から預り金
	計	6,801,688	6,063,859	737,829	
会費	大学院	2,160,000	1,250,000	910,000	入学者数(H24.4.1現在) 大学院 701名 第一部 990名 (編入30名を含む) 第二部 24名
	第一部	12,628,000	8,414,000	4,214,000	
	第二部	322,000	196,000	126,000	
	小計	15,110,000	9,860,000	5,250,000	
預金利息		3,000	4,000	▲1,000	
特別会計繰入金		9,000	6,000	3,000	
合計		21,923,688	15,933,859	5,989,829	

●支出の部

運営費	会議費	100,000	70,000	30,000	
	後援会職員給与	1,200,000	1,680,000	▲480,000	
	運営事務費	1,400,000	1,400,000	0	
	公衆電話維持費	15,000	15,000	0	
	計	2,715,000	3,165,000	▲450,000	
学生生活事業費	新生歓迎会費	960,000	800,000	160,000	
	工大祭等援助費	1,000,000	1,000,000	0	
	学生生活援助費	30,000	30,000	0	
	課外活動援助費	1,900,000	1,650,000	250,000	
	課外教育援助費	770,000	770,000	0	
	就職キャリア援助費	1,278,000	1,100,000	178,000	
	医療援助・見舞金	200,000	200,000	0	
計	6,138,000	5,550,000	588,000		
災害救助対策特別基金繰入金	0	1,000,000	▲1,000,000		
学生生活特別金	3,233,658	3,233,658	0	第一部自治会からの預り金 *大学会館壁画作成費用として支出済	
予備費	9,837,030	2,985,201	6,851,829		
合計	21,923,688	15,933,859	5,989,829		

平成24年度学生対策・援助基金[特別会計]予算

●収入

(単位：円)

科目	金額
前年度繰越金	6,127,997
貸与者返済金	467,900
預金利息	1,400
合計	6,597,297

平成24年度災害救助対策特別基金[特別会計]予算

●収入

(単位：円)

科目	金額
前年度繰越金	9,071,939
「一般会計」からの繰入金	0
預金利息	1,800
合計	9,073,739

後援会会則

(平成24年7月23日総会承認)

第1条 本会は、名古屋工業大学後援会と称する。

第2条 本会の事務所は名古屋工業大学(以下「名工大」という。)内に置き、後援会職員が主にその業務を行う。

第3条 本会は名工大の教育に協力し、学生生活向上のために学生を援助することを目的とする。

第4条 本会は名工大の正規の学生の父母等(保護者)をもって会員とする。

第5条 本会に次の役員をおく。

会 長	1名
副 会 長	2名
幹 事	25名
常任幹事	5名
監 事	2名
顧 問	2名

第6条 会長、副会長、幹事及び監事の選出は、常任幹事が原案を作成し役員会の承認を受け、総会で決定する。

2 顧問は名工大学長、理事の中から1名を委嘱する。

3 常任幹事のうち3名は、名工大副学長、事務局次長及び学生生活課長を委嘱する。

4 監事のうち1名は、名工大学務課長を委嘱する。

第7条 会長は、会務を総理し本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 幹事は、会長の委嘱を受けて会務を行う。

4 常任幹事は、会長の委嘱を受けて会務の連絡と推進にあたる。

5 監事は、会長の委嘱を受けて会計を監査する。

第8条 役員任期は1年とする。但し再任を妨げない。

第9条 定期総会は毎年1回7月末までに会長が招集し、役員承認、事業及び会計報告を行い、その他会の重要事項等を議決する。

2 臨時総会は必要に応じ会長が招集する。

3 役員会は必要あるとき会長がこれを招集し会務を行う。

第10条 本会の経費は会費をもってこれに充てる。会費は学部14,000円(第3年次編入学者は、7,000円)、大学院5,000円とし、入会時に一括してこれを納入する。

2 大学院博士前期課程での会費は、在学期間が連続している場合に限り、博士後期課程ではこれを徴収しない。

第11条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第12条 本会の総会には役員会の承認があれば、学生代表を出席させることができる。

附 則

この会則は、昭和36年6月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成21年5月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成24年8月1日から実施し、改正後の「名工大副学長」については、平成24年4月1日から適用する。

学生対策・援助基金[特別会計]の運用方針

名古屋工業大学後援会(以下「本会」という。)[「学生対策・援助基金」]の運用については次のとおりとする。

I 目的

「学生対策・援助基金」は、名古屋工業大学の学生で、経済的理由により学費の納入が困難な者に対し、学費相当額を融資することにより修学を援助すること及び災害等緊急時の援助を目的とする。

II 学資の融資

1. 融資額及び融資総額

融資額は、入学料又は授業料(年額の2分の1)の額とする。
融資総額は、「学生対策・援助基金」の範囲内とする。

2. 融資の条件

融資時期 学生から入学料又は授業料(年額の2分の1)の額の貸し付けの申し出があった場合、次の条件で融資する。

融資期間 融資日から2年以内とする。ただし学籍を離れるまでに全額を返済するものとする。

返済方法 一括返済又は月割返済とし、月割返済は月4,000円以上とする。

利子等 無利息、無担保とする。

原則として、未返済のある者に対しての融資は行わない。
融資を受けた者は、その全額を直ちに名古屋工業大学経理チームに入学料又は授業料として納入し、納入後はその旨本会の事務担当者に連絡するものとする。

3. 融資の申請方法

融資の申請方法は別に定める。

4. 融資の審査基準及び審査

融資の審査基準は、独立行政法人 日本学生支援機構の奨学生推薦基準に準じる。その際、次の事項を考慮する。

ア 入学料又は授業料の免除申請者で、その許可が半額免除及び不許可であった者から順次決定する。

イ 本会会員の学生を優先させる。
具体的審査及びこれに関する事務については、名古屋工業大学事務局次長(本会常任幹事)に一任する。

III 特別援助

会長は、災害等が発生し、緊急に救助活動が必要と認めるときは、一時立替え、又は支出することができる。

附 則

本運用方針は、昭和54年5月31日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成21年5月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成22年4月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成23年4月1日から適用する。

医療援助・見舞金支出基準

名古屋工業大学後援会の予算項目のうち「医療援助・見舞金」の支出については、この基準を適用する。

なお、医療援助・見舞金については、本会会員の学生のみ適用する。

1. 医療援助

正課教育及び本学公認の正課外活動中に発生した傷病又は原因がこれに起因すると認められるものについては、次の各号による。

一、同一傷病1件の医療費のうち個人負担の合計額が2万円までの場合

全 額

二、前号の額を超える場合超えた額の2分の1を加算する。
ただし、最高5万円までとする。

三、医療援助を受けようとする者は、所定の用紙(医療援助申請書)に所要事項を記入のうえ担当教員等の承認印を受け、これに医療機関が発行する医療費の領収書を添付して、後援会あて申請する。

2. 見舞金

事実の認定に基づいて次の各号による。

一、死 亡 香 典 3万円

二、入 院 見舞金 5千円

附 則

この支出基準は、平成9年6月10日から適用する。

附 則

この支出基準は、平成20年7月20日から適用する。

平成24年度後援会定期総会での名古屋工業大学の現状報告

大学の現状について、中村副学長(学生生活・広報担当)より次のように報告がありました。

1 大学の概要

- ・ 学生数：学部4,236名、大学院1,541名(5月1日現在)。
- ・ 学部(第一部)入学者の出身高校は東海3県に集中し、東海・北陸地区だけで89.7%を占める。女子学生は約15.5%。
- ・ 学部・大学院構成：工学部第一部7学科、工学部第二部4学科
大学院工学研究科7専攻

2 入学者選抜

- ・ 学部一般入試志願倍率:第一部前期日程3.0倍、後期日程6.8倍。第二部は4.9倍。
- ・ 大学院博士前期課程：1.6倍
- ・ 大学院博士後期課程：1.5倍

3 本学の教育

- ・ 教育理念:「ひとづくり」、「ものづくり」、「未来づくり」を理念に、人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、それに対応できる人材を育成する。

○本学の特色ある教育の取り組み

「ものづくりデザイン」教育

学部1年次を対象に、学びの意義をデザインという切り口で考え、体験学習を通じて、創ることの感動、達成感を味わせる。

4 学生支援

1) 学生センター

- ①学生なんでも相談室
学生のさまざまな悩みに対応している。昨年度の相談件数は約1,700件。
- ②先輩のいる学習室
修学相談、学習内容相談に対応している。

2) 工学教育総合センター

- ①アドミッションオフィス(入試サポート)
- ②創造教育開発オフィス(カリキュラムサポート、FD活動)
- ③キャリアサポートオフィス(就職サポート)

3) 「大学会館」のリニューアル

平成24年度より大学会館が新しくなりました。
大食堂、カフェテリア方式食堂、喫茶室、購買、理髪店が併設され、学生が利用できる「就職資料室」「女子談話室」「集會室」「課外活動施設」等目的にあった使用ができる施設も充実しました。

5 就職支援

○概況

- ・ 修士課程への進学率：59%が大学院へ進学。(内訳：第一部65%、第二部18%)
- ・ 就職については、学士・修士ともほぼ100%の就職率を誇る。
- ・ 企業への自由応募の比率が増加している。
- ・ 専門知識や社会性を磨き、情報に流されず、自分にあった進路を見つけるよう指導している。
- ・ 企業は即戦力となりストレスに強い学生を求めるなど、質を重視した採用傾向。

○本学のキャリア教育

- ・ 就職担当教員を各学科・専攻に設置し、就職・進学相談、就職指導を行っている。
- ・ キャリアサポートオフィス、就職情報室によるキャリア形成セミナー、就職ガイダンスの実施
- ・ 学内・学外の専門家による就職アドバイス
- ・ 企業側から実習内容と人数の両方に本学卒の設定を受けたジェネラルインターンシップを始め、正課教育によるインターンシップを実施。
- ・ 本学学生に対する採用意欲の高い企業を招へいし、キャリア教育の一環として、本学自ら企業研究を行うことができるように、企業研究セミナーを実施している。平成23年度は12月13日・14日の2日間にわたり吹上ホールで開催され、企業368社、学生延べ2,232名が参加しました。平成24年度は12月4日・5日同所で開催する。

6 その他

- ・ 学長との対話を通して学生の意見を吸い上げるため、キャンパスミーティングを実施。
- ・ 環境に対する取り組みとして、クリーンキャンパスを実施。

後援会による各種支援事業の報告

名古屋工業大学後援会では、学生の充実した学生生活のために各種支援事業を行っています。平成23年度は以下の支援を行いました。

1. 学生表彰支援

名古屋工業大学では、優秀な学生を表彰する「学生表彰」を実施しており、後援会が支援を行っています。課外活動において全国大会で入賞した学生等を対象とした平成23年度学長表彰では個人3名と2団体に、地区大会等で優勝または準優勝した学生等を対象とした副学長表彰では9名、3団体に図書券を贈りました。



2. 就職活動支援

後援会では本学学生の就職及びキャリア形成支援のため就職関連の書籍を購入しました。

また、TOEICの受験料援助も行っています。平成23年度は550名近くの学生に対して支援を行いました。学生からは、「受験料も大学生にとっては負担に感じる額ですので、後援会からの支援がとてうれしい。」という声も聞かれ、TOEICの支援は非常に好評を得ています。

3. 課外活動支援

後援会では、課外活動への援助を行っており、以下はヨット部からの感謝の言葉と活動報告です。

いつも後援会より、ヨット部の活動に対して多大なご支援を賜りありがとうございます。

平成24年度も秋季中部学生ヨット選手権を優勝し、全日本学生ヨット選手権(琵琶湖インカレ)に進めたことは後援会からのご支援によるものです。ヨット部は、毎年7月にファミリーデーといってヨットやクルーザーの試乗会とバーベキューを行っています。来年度以降も毎年開催していく予定ですので後援会の方々にも参加していただけますと幸いです。

ヨット部は、これからも日々練習を重ね、全国大会で入賞し名古屋工業大学を盛り上げていきます。

(名古屋工業大学ヨット部 長坂 亘)



4. 医療援助支援

後援会では、正規の授業や課外活動中に傷害を負った学生に対する支援を行っています。平成23年度は、課外活動中に負傷された学生に対して支援を行いました。支援を受けた学生からは、「日頃の活動の中で思いもかけずケガをしてしまいましたが、後援会からの援助もあり、安心してしっかりと治療を受けられました。」という感謝の言葉がありました。

その他にも、工大祭や新入生歓迎の援助など、後援会は学生のさまざまな活動を支援しています。

平成23年度卒業・修了者に関する進路(進学・就職)状況

1 概要

出身区分		卒業・修了者	進学者	就職者	現職者の 職場復帰	帰国・その他
工学部	第一部(4年制)	923名	604名	273名	1名	45名
	第二部(5年制)	137名	25名	88名	*1 9名	16名
大学院 工学研究科	博士前期課程(2年制)	681名	31名	607名	*2 16名	29名
	博士後期課程(3年制)	42名	0名	15名	18名	9名
合 計		1,783名	660名	983名	44名	99名

※1 大学院工学研究科における早期修了者(産業戦略工学専攻短期在学コース)を含む。

※2 *1 第二部学生から、大学院博士後期課程へ進学した者のうち1名は、就職者を含む。

*2 大学院博士前期課程から、博士後期課程へ進学した者のうち2名は、就職者を含む。(進学者数と現職者数の双方に示す。)

2 進学状況

(1) 進学率

出身区分		卒業・修了者	進学者	進学率
工学部	第一部	923名	604名	65.4%
	第二部	137名	25名	18.2%
大学院工学研究科(博士前期課程)		681名	31名	4.6%

(2) 進学先

進学先	出身	学部		大学院 博士前期	計	進学先	出身	学部		大学院 博士前期	計
		第一部	第二部					第一部	第二部		
名古屋工業大学		547名	*1 24名	*2 29名	600名	中部大学		1名			1名
名古屋大学		28名		2名	30名	筑波大学		1名			1名
東京工業大学		6名			6名	東京農工大学		1名			1名
奈良先端科学技術大学院大学		4名			4名	東北大学		1名			1名
大阪大学		3名			3名	豊橋技術科学大学		1名			1名
京都大学		3名			3名	福井大学		1名			1名
九州大学		2名			2名	北陸先端科学技術大学院大学		1名			1名
東京大学		2名			2名	山口大学		1名			1名
岐阜県立情報科学芸術大学院大学		1名			1名	計		604名	25名	31名	660名
上越教育大学教職大学院			1名		1名						

※ 学部の進学先は大学院博士前期(修士)課程、大学院博士前期課程の進学先は大学院博士後期課程とする。

*1 第二部学生から、大学院博士後期課程へ進学した者のうち1名は、就職者を含む(進学者数と現職者数の双方に示す。)

*2 大学院博士前期課程から、博士後期課程へ進学した者のうち2名は、就職者を含む(進学者数と現職者数の双方に示す。)

3 就職状況

(1) 就職率

出身区分		求職者	求人倍率	就職者	就職率
工学部	第一部	284名	20.7倍	273名	96.1%
	第二部	96名		88名	91.7%
大学院 工学研究科	博士前期課程	615名	10.5倍	607名	98.7%
	博士後期課程	18名	—	15名	83.3%

(2) 主な就職先〔職場復帰者を除く〕

就職先	出身		大学院		計	就職先	出身		大学院		計
	第一部	第二部	博士前期	博士後期			第一部	第二部	博士前期	博士後期	
◆産業界(以下内訳、3名以上)	252	79	578	4	913	豊田合成			3		3
デンソー	3		27		30	豊田通商	1		2		3
アイシン・エイ・ダブリュ	9	3	7		19	豊田鉄工	2		1		3
トヨタ自動車	2		17		19	日東電工			3		3
中部電力	4		12		16	パロマ			3		3
豊田自動織機			12		12	日立システムズ			3		3
フタバ産業	7	3	1		11	富士通 VLSI			3		3
三菱電機			11		11	マキタ			3		3
アイシン精機	4		6		10	村田製作所			3		3
アドヴィックス	2		8		10	ヤフー			3		3
トヨタ紡織	1		9		10	◆教育・研究機関(以下内訳)	0	3	2	10	15
東海旅客鉄道			9		9	名古屋市立工芸高校		2			2
ブラザー工業			8	1	9	とよたエコプロジェクト			1		1
イビデン	3		5		8	立命館大学				1	1
セイコーエプソン	1		7		8	インドの大学				1	1
三菱電機カハロニクスフウエア	1		7		8	河南城建学院			1		1
東海ゴム工業			7		7	河南大学			1		1
トヨタコミュニケーションシステム	1		6		7	中国大学			1		1
西日本電信電話	1		6		7	大阪市立大学(研究員)				1	1
日本ガイシ			7		7	埼玉大学(研究員)				1	1
本田技研工業	4		3		7	東京大学(研究員)				1	1
ヤマザキマザック	1		6		7	名古屋工業大学(技術職)		1			1
旭化成ホームズ	3		3		6	Carnegie Mellon University(研究員)				1	1
エヌ・ティ・ティ・データ	1		5		6	同済大学(研究員)				1	1
川崎重工業	1		5		6	さなる			1		1
スズキ	1		5		6	◆官公庁(以下内訳)	20	5	26	1	52
日本車輛製造			6		6	名古屋市	6	2	4		12
LIXIL	2		4		6	愛知県	1		7		8
京セラ	2		3		5	三重県	3		2		5
小島プレス工業	4		1		5	岐阜県	1		2		3
東レ	1		4		5	豊田市		2			2
日本特殊陶業	2		3		5	大阪税関	1				1
パナソニック	1		4		5	宮内庁	1				1
浜松ホトニクス	1		4		5	経済産業省中部経済産業局	1				1
日立製作所	3		2		5	国土交通省中部地方整備局			1		1
三菱自動車工業			5		5	最高裁判所			1		1
リンナイ	2		3		5	林野庁関東森林管理局			1		1
J S R			4		4	犬山市	1				1
ジェイテクト	3		1		4	岡崎市			1		1
清水建設	3		1		4	香川県	1				1
新日本製鐵			4		4	刈谷市	1				1
竹中工務店	1		3		4	岐阜市	1				1
東芝			4		4	高知市			1		1
トーエネック	1	1	2		4	小牧市		1			1
トヨタ車体		1	3		4	滋賀県			1		1
トヨタトミ	4				4	津市			1		1
日立ソリューションズ			4		4	東海市			1		1
旭硝子			3		3	豊橋市	1				1
イノアックコーポレーション	1		2		3	長野県			1		1
大林組	1		2		3	浜松市			1		1
小松製作所			3		3	三重県警察	1				1
セキスイハイム中部	2	1			3	四日市市			1		1
積水ハウス	1		2		3	中国交通管理局				1	1
ダイキン工業			3		3	◆非営利法人(以下内訳)	1	1	1	0	3
大成建設	2		1		3	愛知商銀		1			1
大豊工業	2		1		3	鉄道建設・運輸施設整備支援機構			1		1
大和ハウス工業	1		2		3	日本放送協会	1				1
高砂電気工業	1	1	1		3						
T Y K	2		1		3	計	273	88	607	15	983

※ 産業界は、同人数の社名は五十音順とする。官公庁は、教育・研究機関を除く。

平成24年度就職・キャリア形成事業

就職・キャリア支援事業については、工学教育総合センターキャリアサポートオフィスと学生生活課とが連携し、学生自身が納得できる進路決定の一助となるよう、就職相談の実施、企業研究セミナー等就職・キャリアに関する各種ガイダンス・セミナーの開催、インターンシップ事業、「求人情報システム」による求人情報の提供等、就職・キャリア形成の充実を図っています。

【平成24年度後期就職・キャリア形成事業予定】

●企業研究セミナー

企業研究セミナーは、本学の強固で安定した就職ネットワークを活かして、本学学生に対する採用意欲の高い企業を招へいし、本学のキャリア教育の一環として、本学学生に企業研究の機会を提供することを目的としています。平成23年度は12月13日・12月14日の2日間 にわたり吹上ホールで開催され、企業368社、学生延べ約2,232名が参加しました。平成24年度は12月4日・5日同所で開催します。

開催日	時間	内容	場所
12月 4日(火) 12月 5日(水)	10:00~17:00	キャリア教育としての企業研究の2日間 -著名企業が個別ブースで本学学生のために説明- <スーツ等着用のごと>	吹上ホール (名古屋市中小企業振興会館)

*主として第一部3年、第二部4年、博士前期課程1年、博士後期課程2年対象

●就職ガイダンス

開催日	時間	内容	場所
10月 3日(水)	15:00~16:30	第1回 就職活動の開始を前に 講師:㈱マイナビ大阪支社長 望月一志氏	51号館 5111講義室
10月10日(水)	15:00~16:30	第2回 トップセミナー「進路の迷いと多様なキャリア」 ◆(社)名古屋工業会共催 講師:三井物産㈱常務 田中幸一氏、㈱アドヴィックス社長 川田武司氏	
10月17日(水)	15:00~16:30	第3回 先輩の就職活動を知ろう パネラー:先輩学生	
10月24日(水)	14:20~17:00	第4回 公務員ガイダンス 講師:官公庁採用担当者	
11月 7日(水)	15:00~16:30	第5回 電機工業会 講師:日本電機工業会	
11月14日(水)	15:00~16:30	第6回 就職活動のマナー 講師:はるやま商事㈱	
11月21日(水)	15:00~16:30	第7回 OBセミナー ◆(社)名古屋工業会共催 講師:アイシン精機㈱ 河野慎司氏、日本ガイシ㈱ 古田博文氏	
11月26日(月)	15:00~16:30	第8回 公務員ガイダンス 講師:官公庁採用担当者(市役所)	
11月28日(水)	15:00~16:30	第9回 業界研究・企業研究・職種研究とは 講師:㈱ディスコ 前原加奈氏	

*主として第一部3年、第二部4年、博士前期課程1年、博士後期課程2年対象

【就職情報室から】

本学の就職情報室は学生生活課に所属し、19号館1階学生センター10番窓口で就職相談を中心とした就職・キャリア形成支援を行っています。

1. 就職相談

本学専属の就職相談員及び学外のキャリアカウンセラー等(就職シーズンのみ)による相談、面接練習を所定の時間帯に実施しています。

2. その他の就職支援

自由応募に関する求人票・会社概要・会社説明会情報の閲覧及び就職に関する図書の閲覧・貸出を行っています。

就職に関する図書については、附属図書館で貸出。

自由応募に関する求人情報は「大学求人票閲覧システム」により学生ポータルサイトから閲覧可能。

キャリアサポートオフィスから

『就職ならばお任せ下さい』

保護者の皆様、リーマンショックに端を発した経済不況に追い打ちを掛けるような震災不況・・・そして経団連の倫理憲章の変更（採用開始時期の後ろ倒し）と確かに昨年、今年の就職戦線は大変でした。多くの就活生たちが状況の変化についていくのに苦しみました。でも・・・それでも大丈夫でした。平成23年度も本年も、大学院では殆どの専攻ですでに95%近い内定率を頂いております。名工大に入れて良かったと思って戴けるのではないかと思います。

ただし、やはり好景気の折に比べれば厳しい状況であることは確かです。特にきちんと準備ができていなかった学生は苦しみました。そこで本学では、キャリアサポートオフィス、学生なんでも相談室、各学科就職担当教員、そして就職情報室が密に連携して、お子様たちのキャリア教育は基より、既存就職先（これは他大学には負けません!）の維持、さらには、こんな時だからこそ実力のある名工大生を採用したいという、技術力をお持ちの企業さんの新規開拓など、外部就職支援企業などとも密に連携して、名工大にカスタマイズされた就職・キャリア形成支援システムを構築しております。

如何ですか?どうか安心してお子様たちを私どもにお預けくださいませ。また何かご心配事がありましたら下記連絡先までどうぞお問い合わせください。

キャリアサポートオフィス オフィス長
山下 啓司

連絡先

URL <http://career.web.nitech.ac.jp/>(キャリアサポートオフィス)
<http://www.nitech.ac.jp/campus/counsel/all.html>(学生なんでも相談室)
TEL 052-735-5243(山下)

第50回工大祭のご案内

本年度も本学の大学祭である工大祭の季節となりました。名古屋工業大学後援会の皆さまには、毎年、工大祭への多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

後援会からのご支援のおかげで工大祭も今年で50回目を迎え、11月16日(金)・17日(土)に、本学キャンパスに加え、大学に隣接する鶴舞公園を会場として開催いたします。今年の工大祭では、ミニ四駆大会や名工大生の有志によるパフォーマンスコンテストなどの名工大生が中心となる企画から、模擬店・ステージ・お化け屋敷・後夜祭などの学園祭の定番とも言える企画まで、盛りだくさんあります。

後援会の皆さまには是非第50回工大祭会場にお越し頂き、様々な企画を楽しんで頂きたいと思っております。

今年も工大祭の他に、大学周辺地域の小学生を対象とした縁日企画を行ったり、吹上小学校のトワイライトスクールに参加したり、本学の吹奏楽団や合唱団の方々と協力して名古屋大学附属病院にてコンサート企画を行ったりして、地域の方と親密な関係を築きあげていこうと工大祭実行委員一同一丸となって努力してきました。また、毎月第3日曜日には大学周辺のごみ拾いを行っており、地域密着型の工大祭となるように日々取り組んでおります。

本年度も、後援会からご支援いただいた援助金は第50回工大祭をより充実したものとするために有意義に使用させていただきますとともに、今後とも工大祭へのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(名古屋工業大学第50回工大祭実行委員会委員長 鈴木 孝直)



平成24年度 公開講座のご案内

○名古屋工業大学では、一般市民等を対象とした公開講座を実施しています。

名 称	対 象 者	募集人数	実施期間	実施時間	実施場所	申し込み先	受付期間	料金	担当学科・専攻等
建築的胎動 名古屋工業大学 建築設計製図講義	本学・他大学学生、 一般市民	20人	平成24年10月 4日 平成24年10月11日 平成24年10月15日 平成24年11月29日 平成24年12月 3日	13:00~14:30 12月3日のみ 13:00~14:30 18:00~19:30 の2回開催	名古屋工業大学	名古屋工業大学	講座開始日の5日前まで	無料	建築・デザイン 工学科
プログラミング体験 ～ロボットを動かす プログラムを作ろう～	高校生	20人	平成24年11月10日	13:30~16:30	名古屋工業大学	名古屋工業大学	講座開始日の5日前まで	無料	情報工学科
コンピュータサイエンス・ アドベンチャー ～理論計算機科学はこんなに面白い!	高校生以上	20人	平成24年11月17日	10:00~17:00	名古屋工業大学	名古屋工業大学	講座開始日の5日前まで	無料	情報工学科
安全で快適な循環型 社会を支える最新技術 (名古屋生涯学習推進 センターキャンパス講座)	高校生および 保護者	50人	平成24年10月20日 平成24年10月27日 平成24年11月 3日 平成24年11月17日	13:00~16:00	名古屋工業大学	名古屋工業大学	講座開始日の5日前まで	無料	工学教育総合 センター

1 申込期間

申込期間 各講座の受付期間を参照して下さい。

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～16:00(土・日・祝祭日及び12:00～13:00を除く)

2 申込方法

窓口へ直接申し込む方法と郵送、FAXまたは電子メールで申し込む方法があります。

1 窓口で直接申し込む方法

公開講座申込書に必要事項を記入して、提出して下さい。

2 郵送または FAXで申し込む方法

公開講座申込書に必要事項を記入して、下記申込先へ送付して下さい。

3 電子メールで申し込む方法

次の前事項明記の上、メールの件名を「公開講座申し込み」として、下記e-mail アドレスへ送付して下さい。

- | | | |
|-----------------|---------------|------------------------------|
| ① 受講講座名 | ⑤ 住所 | ⑨ メールアドレス |
| ② 氏名(ふりがな) | ⑥ 電話番号 | ⑩ 案内の中で指示のあるものは、その指示に従って下さい。 |
| ③ 性別 | ⑦ 勤務先又は学校名 | |
| ④ 年齢(学生の場合は学年も) | ⑧ この講座を知った情報源 | |

3 申込先・問合せ先

宛 先	〒466-8555 名古屋市長和区御器所町 名古屋工業大学 学務課 学部担当
e-mail	gakumu-tan@adm.nitech.ac.jp
T E L	(052)735-5066(ダイヤルイン)
F A X	(052)735-5072

4 受講にあたっての留意事項

- 1) 受講希望者多数の場合には、お申し込みの受付を終了させていただく場合がございます。
- 2) 受付期間終了後、受講のご案内をFAXもしくはEメールにて通知します。
- 3) 受講日は、講義開始時間までに直接会場に集合願います。
- 4) 受講を許可された方で、やむをえず受講を辞退される場合には、上記問合せ先までご連絡願います。
- 5) 自動車による名古屋工業大学構内への入構はご遠慮下さい。

5 公開講座に関するホームページアドレス

公開講座に関しては、以下のホームページでもご紹介しています。

- <http://www.nitech.ac.jp/course/index.html>



大学会館 2 階ホールに設置した陶壁画です。これは、相川雄規さん(大学院工学研究科社会工学専攻1年)をリーダーとし NDP (NIT DESIGN PROJECT) がデザインしたものです。コンセプトは「巣」と「展」。「巣」とは、卒業生にとっては「古巣」として、また在校生にとっては「巣」として、鷺の巣をモチーフに表現され、「展」は本学から世界へ羽ばたく展望の場所として、南側の窓へ開く流れを背面の枝を模したタイル壁によって表現しています。